

令和5年度第2回旭川市公立大学法人評価委員会 会議録

日 時	令和5年12月25日(月)午後3時30分から4時30分まで
場 所	旭川市総合庁舎7階多目的室
出 席 者	○五十嵐委員, 川島委員, 長澤委員, 中島委員, 松倉委員 (五十音順) ○事務局: 熊谷総合政策部長, 鈴木公立大学課長, 柴田主査, 水野 ○オブザーバー: 公立大学法人旭川市立大学 (以下「法人」という) ・高瀬理事長, 三上学長, 守屋局長, 安田次長, (以下途中退席) 上代事務局付次長, 水野事務局付主幹
欠 席 者	なし
公開・非公開	公開
傍 聴 者	1名 (市民等: 0名, 報道機関: 1名)
会 議 資 料	次第 ・資料1-1 公立大学法人設置に関わる提出が定められている資料について ・資料1-2 令和5年度事業計画及び予算 (法人提出) ・資料2-1 今後の旭川市公立大学法人評価委員会の運営について(案) ・資料2-2 (参考資料) 地方独立行政法人法改正に伴う評価委員会の運営に係る他事例について ・資料2-3 (参考資料) 中期計画 (法人提出) ・資料2-4 (参考資料) 年度計画 (法人提出) ・資料3-1 公立大学法人のPDCAマネジメント・サイクルについて ・資料3-2 旭川市公立大学法人評価委員会における評価の流れについて(案) ・資料3-3 公立大学法人旭川市立大学の業務実績評価に関する基本方針(案) ・資料3-4 (参考資料) 評価の基本的な考え方・方針に係る他事例について ・資料3-5 公立大学法人旭川市立大学各事業年度業務実績評価 (年度評価) 実施要領(案) ・資料3-6 (参考資料) 評価要領・基準に係る他事例について
会 議 内 容	
1 開会	
2 報告 (1) 公立大学法人旭川市立大学令和5年度事業計画及び予算について	
委員長	事務局から説明願う。
事務局	(資料1-1から1-2まで説明) ・年度毎の予算・事業計画について法人から提出を受けており, 既に市議会に対して提出をしている。内容は, 第1回会議で御説明した年度計画と同様である。
3 議事 (1) 今後の旭川市公立大学法人評価委員会の運営について	
委員長	事務局から説明願う。
事務局	(資料2-1から2-4まで説明) ・公立大学法人設置に関わる根拠法令である地方独立行政法人法が本年改正されたため, 今後の旭川市公立大学法人評価委員会の運営について確認する。 ・旭川市立大学は, 令和5年度から設置されており, また, 現中期計画は, 指標設定できていない項目がある。旭川市立大学に関わっては, 当面の間は, 毎年度, 法人において年度計画作成及び本市への提出を実施し, 評価委員会で年度評価を実施することとしたいと考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・なお、将来的な方向性として、毎年度の実績報告及び評価が廃止となることで、中間・期末評価の際にのみ数年分の実績を評価することは、評価委員会の負担が大きいと考えられ、中間・期末評価を適正かつ円滑に行うためには、旭川市及び評価委員会が、法人の業務実績等を把握することができる仕組みが必要であると考えている。年に1度程度、評価委員会と法人が意見・情報交換を行う場を設けることで、大学・短大の現状等を共有し、双方ともに中間・期末評価に負担が集中することを避けられるようにしたいと考えている。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問・意見等を伺う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正の主旨は、年度評価を廃止するという理解でよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりである。ただし、旭川市立大学の現状を鑑みると、当面は、毎年度の評価をお願いしたいということである。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人の評価委員会は、書面での対応が多く委員長の裁量によるところがある。評価に当たっては、法人へのヒアリングを実施した方がよいと考えるが、先行する他事例を確認しながら、大学の負担感がないようお願いしたい。
学長	<ul style="list-style-type: none"> ・公立大学としてスタートして間もなく、内部統制、P D C Aサイクルなどなかなか難しい実情がある。評価委員会での評価とは別に、大学独自でも評価を実施し、P D C Aサイクルを意識した業務ができるようにしていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会の評価についても基本的には大学の自己評価に基づくものであると認識している。 ・毎年の年度評価を実施するとなると事務方の作業は大変になるが、年度評価廃止後も、評価委員会は年1回程度開催し、大学と意見交換をした方がよいと考える。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日は、基本方針などについて事務局案を確認する場ということで、評価方法については、今後、より具体的にされたい。 ・他に意見はないか。
各委員	(特段の意見なし)
3 議事(2) 業務実績評価について	
委員長	事務局から説明願う。
事務局	<p>(資料3-1から3-6まで説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に、評価方針及び評価実施要領等の作成を進めて、以降、毎年度、前年度の年度評価を実施する。令和9年度には、中間評価を、令和11年度には、期末評価を実施する予定である。 ・(業務実績評価に関する基本方針及び年度評価実施要領について資料に基づき事務局案を説明。) ・他の事例で評価委員会が作成している評価結果に係る資料を配付し、法人による自己評価を踏まえて評価委員会が評価をする流れになる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明に対して委員から質問・意見等を伺う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料3-3について基本方針案の4(3)で「法人に意見を申し立てる機会を設けた上で決定する」とある。決して必要がないのではという主旨で聞くわけではないのだが、独立した評価委員会が実施する評価に対して「意見を申し立てる」とはどういう理由か確認したい。

事務局	・今回提示している基本方針等は、他の事例を参考に作成しているところであるが、評価が一方的にならないようにということであると思う。
委員	・例えば、大学が自ら実施した評価結果と、評価委員会で実施した評価結果において乖離があった場合、その状況を共有するということであると考えて。 ・資料3-3について年度評価実施要領案の2(2)で項目評価と総合評価を実施することについて記載されているが、項目評価を実施し評価結果の平均をもって総合評価につながるという認識か。
事務局	・そのとおりである。
委員長	・中期計画において達成を目指す取組もあり、年度計画で達成が難しい項目もあるかもしれないので評価委員会で議論しながら検討していきたい。 ・中期計画において指標を設定しているが、指標を設定していることや内容について大学内の状況として共有できているのか。
学長	・私立からの移行であるので難しい状況もあるが、新たに人事評価委員会を設置し学内での情報共有には努めているところである。
委員	・評価によって予算におけるインセンティブがあるということも考えられるのか。
事務局	・旭川市立大学に対する旭川市からの運営費交付金については、大学が必要とする支出から学納金など大学の自己収入を差し引いて交付する収支補填形式としているため、評価と予算を連動させることは難しいが、例えば、毎年度の剰余金の取扱については、旭川市の承認が必要になるため、旭川市として評価委員会の評価結果を留意することはできるかもしれない。いずれにせよ今後の検討にはなると考えている。
学長	・財務状況が厳しいので検討をお願いしたい。
委員長	・他の事例で外部資金を獲得した場合、当該教員の給与に反映する仕組みがあると聞いたことがある。場合によっては、採択につながらなくても科研費に応募することだけでも評価とすといったこともある。
学長	・そういったことができれば教員の意識も変わってくるかもしれないが、今年度の研究費の獲得は前年度よりも増えている。まずは、人事評価委員会で評価システムを検討していきたい。
委員	・例えば評価委員会の意見として教員の増員を提案するといった話もあるかもしれない。
学長	・ぜひお願いしたい。
事務局	・旭川市としても大学とは同じ方向性の中で取り組んでいきたい。旭川市立大学は、旭川市の大学なので支援していきたいとは思っている。
委員	・旭川市立大学については、私立大学から移行しているところで適正な人事配置になっているのか。
学長	・加配なども検討したいが、費用が伴うことでもあると思っている。
理事長	・私立時代の状況を確認すると、人事面で経営改善に努めていたことが見受けられた。公立大学としてスタートしたとして、ドラスティックにはできなくても徐々に改善していきたいとは考えている。
委員	・公立大学として運営するに当たって、教育の質がより向上し学生の確保につながる好循環が生まれたらいいと思う。

	委員長	・他に意見はないか。
	各委員	(特段の意見なし)
4	その他(1) 次回の会議日程について	
	委員長	・事務局から説明願う。
	事務局	・次回の会議に関わっては、評価方針や評価実施要領について本日の会議での意見を踏まえて改めて整理した内容を伝えたい。 ・今回の御意見を踏まえて整理した内容をお示しする際、委員参集がよいか。それとも、文書等にて通知し実際の評価をする際に改めて確認することがよいか。
	委員長	・次回の会議開催について確認するが、本日の会議内容を踏まえて整理した内容を事務局から文書などで知らせてもらい、必要に応じてコメントをするなどの対応でよいと考えるがどうか。
	各委員	(特段の意見なし)
	事務局	・今回の御意見を踏まえて整理した内容については、別途お知らせする。 ・次回の会議開催は、令和6年度に法人から令和5年度の業務実績報告書などの提出があり、実際の評価を実施するときになることを想定している。
	学長	・今回の基本方針及び年度評価実施要領は、あくまで案ということであるが、学内で情報共有をしたいので、正式に決定した時には、評価委員会から大学に対して通知してほしい。
	委員長	・時期はいつでもよいか。
	学長	・評価委員会において支障がない範囲で可能な限り早期にお願いしたい。
	事務局	・承知した。本日の議論を整理し、2月頃を目途として評価書案やスケジュールを委員にお知らせしたいと考えているのでよろしく願います。
	委員長	・全体も含めて他に意見はないか。
	各委員	(特段の意見なし)
5	閉会	

以 上